

社会構造論2005

社会構造の概念

社会人類学における社会構造論

A.R.Radcliffe-Brown 1881-1955

- 青柳まちこ訳『未開社会における構造と機能』新泉社、1975年 264-266頁
- 「社会構造は社会関係とイコールではなく、特定の社会関係はそれを含みこむ広範な社会関係の網の目の中の一部としてのみ存在している。探求すべきなのは、この網の目である。--社会構造として1) 人対人の全ての社会関係を考えている。2) 社会的役割によって生じた、個々人や階級の分化をも含めている。」

- 「もしも我々がどこか適当な大きさの便宜的な地域を取り上げるならば、その地域の中であちらこちらに見えかくれしているような構造的体系を研究することができる」267頁。
- 「単独社会(コミュニティ内で観察しうる構造的体系)の集中的研究と、多くの社会(異なる型の構造的体系)の体系的比較研究が組み合わせられなければならない。」269頁。
- ピーター・マードック『社会構造—核家族の社会人類学』新泉社、1986年。家族、親族集団、地縁集団、親族呼称法、性関係の統制

- Bronislaw K. Malinowski 1884-1942
- 社会構造を文化とともに捉える 社会制度の機能を心理的充足の側面で捉える。
- 社会人類学(機能主義)の隆盛 進化論的人類学(伝播説)に代わり、参与観察に基づいた民族誌の作成、社会や文化を構成する諸要素を相互に関連する全体と見て、それぞれの役割を検討していく(機能主義)を創始し、生産的な民族誌を形成した。
- R.Firth, E.E.Evans-Pritchard, M.Fortes, M.Gluckman

M.Fortes : Ancestor Worship

- 家父長制家族：系譜の超世代的連関が家長の地位継承でなされるために、家長と跡取りの世代間関係が中心的な家族結合
- 祖先の祭祀権は家長の権利：前家長への恭順は、跡取りの家長に対する恭順をも要求
- 家長権は親の死によって譲り渡される アンビヴァレントな心理 至高の「孝」としての祖先崇拝は両世代の潜在的な対立を宥和する

機能主義的人類学の問題点

- 1) いわゆる未開社会(調査者の社会から見て)、他の社会との境界が明瞭で、自律性の高いことが前提。
- 独立したコミュニティであり、それは全体社会としてみなされ、社会の諸制度は互いに連関し、文化は社会構造を何らかの意味で表象するものと想定できる。

- しかし、これら未開社会として調査対象となったのは、殆どが植民地；宗主国の権力
- 共時的分析に力点を置いたのは、社会構造に歴史性を考慮する必要がないと考えたから；文書資料の欠如は歴史の欠如ではない。オーラルな歴史の存在。
- また、文化と社会構造との関連を初め、諸部分が完全に連関しているという想定の新現実性、或いは、文化の相対的な独立性；古典を演じても古典的世界があるわけではない。このような先進国の常識を考慮に入れなかった。

2) 調査手法、機能主義的認識の罫

- 1) 2,3年の定着調査:よそ者と仲間の間 実態は？ マリノフスキー 『未開人の性生活』
- 2) 調査者ごとに違う社会構造の記述: 社会構造とは実態ではなく、モデル 質は？
- 3) 調査 植民地、軍・行政の管理に役立つ情報の収集という側面 開発政策へ
- 4) 調査することで変わる現実: 聞かれることで構築される記憶、物語

C.Levi-Strauss (1908-)

- **社会構造**：具体的に観察可能な経験的実在である親族等の社会関係の網の目は社会関係であり、これらを考察するために構成されたモデルである。馬淵東一他訳『親族の基本構造 上下』番町書房、1977年。
- **基本構造**とは--親族名称が、血縁者の範囲と姻戚の範囲とを直接に限定することを可能ならしめる諸体系：集団間の女性の交換体系、婚姻を通じて集団間の交流と安定を保証する インセスタブーの起源

富永による定義 社会システム理論

- 社会構造social structure「一つの社会システムを形態面から特徴づけている、構成諸要素の間の相対的に恒常的なむすびつきである。」
- 富永健一『社会学原理』岩波書店、1986年、184頁。

T. Parsons(1902-1979)

- 社会システムsocial system:「機能的欲求充足の実現に指向する目標達成過程によって特徴づけられる」「欲求充足を求める目的的な状況適応過程たる行為」と対応関係にある。
- 但し、社会システムには創発的特性があり、個人の諸欲求の総体がシステムの機能的要件になるわけではない。163頁。

- 創発的特性 emergent property : 生物進化、或いは階層的秩序をなす実在において、低級次元では存在しないものが、高級次元に存在する。諸部分の総和に還元されない全体の特性。
- 例 : 群衆行動 ; 普段はおとなしい人々が突然、場の空気、要はお互いの相互作用の中で予想もできない行動をとる。或いは、社会的事実そのもの。家族は個人には存在しない人間集団化後の生物・文化的創発特性である。

機能function :

- 「システムの要素、又は全体のいずれかによって担われる活動が、システムの目標達成及び環境に対する適応に関して是非とも充足されねばならない必要性に関わっていると解釈されるとき、それらの活動に対して付与される意味付のこと」193頁。
- 「構造は記述概念。機能は説明概念。」194頁。

- 「一つの社会システムは、ある一つの構造のもとで、一定水準の機能的要件充足能力を持つ。人々の欲求水準が高まるか、あるいは当該システムにとって環境条件が変化するかによって、これまでのシステムの機能的要件充足能力で流行っていけなくなる場合、これまでの構造は当該システムの成員による支持を失う。すなわち、人々はシステムの機能的要件充足能力を高めるために、新たな構造を求めて現行の構造を捨て去る。」199頁。
- 社会変動へ

Parsons and Smelser, functional imperative 機能的命令

- adaptation 外部環境に適応するべくシステムが必要とする資源 経済
- goal attainment 資源を動員、管理して目標を達成する 政治
- integration システム内部の統制 コミュニケーション
- latent pattern maintenance システムを維持、内部の緊張を放出する 文化

N. Luhmann(1927-1998)

- 社会発展を社会システムが環境の複雑性を縮減するために、自己の複雑性を増大する過程と考える。
- システムは、自己の意味ある世界とカオスの外界に境界を設けて自己の同一性を維持しようとする。秩序のない環境に秩序をつけ、統御可能にするために、環境の複雑性と同程度に自己の理解能力・コントロール能力を増大させる。それがシステム内部の機能分化をもたらす。

- ルーマンは、社会システムを統合・維持する文化的価値のシステムが、他のサブシステムを意味的に統御するという立場をとらない。
- 価値のサブシステムを全体の社会システムとは別に設定するのではなく、社会システム自体が意味を構成する意味連関システムであるという。 自己組織性
- 社会統合は、社会システム内の分化したシステム間の相互依存性、それにより形成された意味によってなされる。
- パーソنزとの対比